



●過去の配信内容では、技術情報や営業支援ツールのダウンロードサイトを公開いたしました。改修工法の選定方法にお悩みではないでしょうか。●UR都市機構保全工事共通仕様書にBIG SUNが掲載されました。●大日化成の金属屋根緑化をなぜお選び頂ける

バックナンバー
<http://goo.gl/SfN0lk>
こちらから

スタッフ紹介

大日新聞に関するお問い合わせ・ご意見などはホームページ及び
大日化成株式会社 06-6909-6755 までお願いいたします。

日頃は営業活動やお電話で応対させていただいているスタッフの日常をお伝えいたします

から北へ18キロ位の位置にあり家の前の道はセンターラインも歩道も付いた立派な道ですが、1日に車が数台しか通らないいわゆる「ど田舎」です。ツキノワグマ、イノシシ、ニホンジカなどたくさんの動物と共に存しています。



岡山工場長 山本貴雅

今年は生パスタ作りを始めました。生パスタ作りと残ると困るために少量でもすぐ作れるパスタマシン「ヌードルメーカー」を購入しました。基本配合(強力粉、薄力粉、冷水・塩・卵)を入れ混合5分、製麺5分の計10分で5人前が出来上がります。

ICHI CHEMICAL
CO., LTD.

● 本社

〒571-0030 大阪府門真市末広町 8-13

TEL : 06-0

● 東京支店

〒105-0013 東京都港区浜松町1-2-5

最新情報をお届けするため、毎月11月より、大日化成株式会社の情報をいち早くお届けいたします。ホットな話題をいち早くお届けしたたり、メールマガジンを発行しております。お知らせするためには、メールマガジンを発行しております。この●今年もやつてくる、灼熱の暑さを少しでも緩和するために、という内容でお届けしております。

のなか●今年もやつてくる、灼熱の暑さを少しでも緩和するために、という内容でお届けしております。

ホームページからなにがしかのお問い合わせをいただきまして。方へ配信しております。基本的に大日化成ホームページからなにがしかのお問い合わせをいただきまして。方へ配信しております。毎月中日あたりに配信しております。配信先は大日化成株式会社の情報をいち早くお届けいたします。

か否かは、見に来て頂く事で初めて分か

環境問題を語る上で絶対に外せないのは「エネルギー問題」放射能汚染を引き起こした原子力発電所も、大気汚染PM2.5の要因になつてゐる石炭やガソリンなども、すべて人類が欲してきた「エネルギー」によるものだからです。

「何の汚染もなく、永久的かつ莫大なクリーン・エネルギーを容易につくることができれば！」これは人類にとって長年の夢ですが、一方でなかなか実現できないからこそ、SFの世界で語られてきました。

そんな中ようやく、トヨタが

水素で走る自動車を発売しました
電気もいらず、排ガスの代わりに
水しか出ないというスグレモノ。
しかも、関連する特許を無償開放
するというオマケ付き。これで各
社が量産化すれば、クリーンな自
動車が一気に世界に広まると注目
的。

そんな水素自動車と同じように、
長年SF世界で語られるクリーン
なエネルギーに「フリーエネルギー」
というものがあります。

フリーエネルギーとは、一旦起動
すれば、永久かつ無限に使えるク
リーンなエネルギーを発する装置
(理論)で、その提唱者として一番

今回取り上げた1984年の「フライラデルフィア・エクスペリメント」、題名は「フライラデルフィア実験」という意味ですが、実はニコラ・テスラが発明した「テスラコイル」の原理を元に、米軍が第二次大戦中に撮影した壮大な実験をモチーフにした映画です。

テスラコイルというのは、高周波・高電圧を発生させる共振変圧器。当時の米軍がこれを応用し、「スティルス」(同様に、レーダーから機影(船影)を消せば敵に知られず攻撃をかけることできると考え、巨大なテスラコイルを駆逐艦「エルドリッジ」の船体に巻き、磁気を消滅させる消磁実験をしました。

主演のマイケル・パレが苦悩する軍人をかつこよく演じておられ、30年経つた今でも十分に見ごたえがある、当連載ではイチオシの作品です。ルロス・アレン(デ)など商船アンドリュー・フルセスの乗員目撃者や、エドワード・ダンジョーンなど実験関係者が名乗りをあげたことから一気に都市伝説化しげ、いまだに真偽について多くの研究がされていますが、そういった予備情報の上、本作をご覧いただくと、より楽しさが倍増することでしょう。

映画で学ぶ 環境問題



フィラデルフィア・
エクスペリメント

監督：スチュアート・ラフィル
脚本：ウィリアム・グレイ
製作総指揮：ジョン・カーペンター

ナンシー・アレン
配給：20世紀フォックス
上映時間：102分
公開：1984年[米国]

有名な人物に19520世紀に活躍した「ニコラ・テスラ」という発明家がいます。

電気技師でもあつたテスラは、なぜか日本ではまったくの無名ですが、世界的には「エジソンよりも優秀」として有名で、現に今わたし達が使つてゐる電流システムは、エジソンが提唱した直流ではなく、テスラが実現化した交流方式です。磁束密度には「テスラ」という単位が残されていりますし、ノーベル賞候補にも何度かあがっています。

当初、テスラはプロジェクトの責任者だったものの、実験前には「危険すぎる」と辞任し、米軍は別の人間を責任者に実験を行します。その結果、1943年10月28日の実験当日、ペンシルベニア州フライデルフィア海上の「エルドリッジ」は、「レーダーから」どころか「誰の目からも完全に姿を消してしまい、なんと！はるか南のバージニア州ノーフォークに瞬間移動してしまった後、さらにもう一度、もとの場所に瞬間移動したのです。

